

第5回 曾於市写真コンテスト

曾於市内の魅力あふれる写真 127 作品が応募され各賞が決定。
入賞は、次の作品です。



議長賞 「鬼迫」
岩下 昌平氏 (鹿児島市)



市長賞 「龍虎太鼓」
上入佐 弘氏 (鹿児島市)



優秀賞 「孫からの贈り物」和田 正治氏 (鹿児島市)



優秀賞 「出荷準備中」
東穂 礼正氏 (鹿児島市)



入選 「朱の朝」
中森 光吉氏 (鹿児島市)



入選 「季の流れ」
松下 良明氏 (曾於市)



入選 「曾於米が一番!!」
赤石 透氏 (霧島市)



入選「伝統に生きる」
長 勝幸氏 (鹿児島市)



入選「夏の輝き」
窪 健一氏 (志布志市)



入選「星降る夜」
大社 正照氏 (鹿児島市)



入選「洞穴の舞」
酒匂 博文氏 (鹿児島市)



入選「安全、安心な野菜作りをめざして」
峯崎 善通氏 (志布志市)



入選「人馬一体」
吉永 文哉氏 (霧島市)



入選「鬼 大暴れ」
鈴木 弘信氏 (鹿児島市)

写真コンテスト・審査講評

恒例の「曾於市写真コンテスト」は127点の力作が応募され2月13日に審査が行われて14点の入賞・入選作品が選ばれました。

今回応募された作品はテーマの幅が広く、伝統行事や自然・風景とともに農業に勤しむ生きいきとした秀

作が多かったのが特徴でした。すべての作品が曾於市の魅力や地域性・環境を表現する貴重な作品となっています。

回を重ねるにつれて、写真が単なる記録に止まらずハイレベルな写真技術を駆使して表現を試みる作品が多くなってきました。今回の入賞・入選作品には、そのような試みも評価されています。

市長賞の作品は、逆光の美しさと絶妙のアンゲル・シャッターチャンス、環境を表現する背景構図の素晴らしさが評価されました。

議長賞は写真のズームイン効果を生かして表現しています。二十代の若者のチャレンジが成功した作品です。

過去の入賞・入選作品と似通った作品はなるべく避けて新しい発見の表現・アンゲル・構図などを模索するのも魅力ある写真コンテストの要素ではないかと思っています。

(社団法人) 日本写真家協会
(JPS) 会員 熊副 穰

